

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。
その「今」を紹介します。

持続可能な社会を目指すSDGs／ESD

●SDGs達成に貢献するESD

教育委員会と各学校は、世界遺産や福祉、まちづくりなど、地域の特徴を生かしながら、ESD(持続可能な開発のための教育)を進めています。

第9号で紹介したように、教育は、地球規模の課題を解決するための目標として国連が定めた、SDGs(エス・ディー・ジーズ。持続可能な開発目標)の目標4に位置付けられています。また、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、といわれています。

このように、ESDは、持続可能な社会の担い手づくりを通して、SDGsの達成に貢献するものです。

●ESDの「次なるステップ」へ

教育委員会では、SDGsの達成に向けて、全国レベルでESDの推進体制を構築するために、国の支援のもと、

今年度より次のことを進めています。

【ESDの深化による地域のSDGs推進事業】

○先進的にESDに取り組む全国の教育委員会が参画する「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」の開催

○ESDをリードしている教員を対象とした研修プログラム「ESDマスターティーチャープログラム」の開発



SDGsの目標4
「質の高い教育をみんなに」



日本ユネスコ国内委員会委員・及川幸彦さんによる講演「ESDとSDGsについて」

●全国の先進的な取り組みを共有

「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」を8月21日に大牟田で開催しました。北は北海道羅臼町から南は熊本市までの10の教育委員会の関係者などが参加して、それぞれの取り組みを発表し、成果や課題などについて意見交換を行いました。

翌22日には、「ユネスコスクール・ESD全国実践交流会」を開催しました。全国から300人を超えるESD関係者が集い、講演や分科会で熱心な質疑と意見交換が行われました。

2日間を通して、SDGsの達成について、全国の先進的な取り組みを共有し、考えを深める充実した機会となりました。

●ESDちいき講座を開催

今年度も、各学校のESDの取り組みやユネスコスクールについて市民の皆さんに知ってもらうため、各地区公民館とえるるを会場に「ESDちいき講座」を合計8回開催し、166人が受講しました。

【主な意見を紹介します】

・ESDという言葉は耳にしていますが、内容を知ることでもっと興味湧いて、子ども達と一緒に取り組んでいけたらと思いました。

・学校と地域が一つになって、大牟田を盛り上げたいと思いました。



講座は7地区公民館とえるるで行いました

「英語を聞く・話す・読む・書く」を体験

ジョイフル・イングリッシュ・タイム

平成32（2020）年度から全面実施される新学習指導要領の先行実施として、オールイングリッシュの活動を体験する「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」を8月28日に文化会館で開催しました。

●小学生は興味・関心を高め、中学生は自分の考えを伝える

この事業は、「英語を聞く・話す・読む・書く」を取り入れた「オールイングリッシュ」の活動を通して楽しく英語を学ぶことで、小学生は英語への興味・関心を高め、中学生は「自分の考えを伝える力」の向上を目的とするものです。今回が初開催で、小学生54人、中学生17人が参加しました。

●英語でコミュニケーションする楽しさを実感

小学生講座では、英語での自己紹介や行きたい国の紹介に挑戦して発表したり、明治小学校の英会話ロボット「NAOKUN」と交流しました。

中学生講座では、グループに分かれて、東京オリンピックに向けて英語で大牟田や福岡を宣伝するCMを作成し発表しました。

活動を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさや新しい友達をつくる楽しさを実感しました。



中学生講座～英語CM発表の練習



小学生講座～英会話を楽しむ

リトルティーチャーと一緒に楽しく学習

「サマースクール」で中学生がサポート

小・中学校は、今年度も、夏休み期間中の強化学習「サマースクール」を実施しました。三池小学校では、中学生の「リトルティーチャー」が後輩の勉強をサポートしました。

●初の取り組み

三池小学校のサマースクールには4・5年生の希望者と6年生全員が参加し、算数を中心に学習に取り組みました。

同校では、今年度初めて「リトルティーチャー」による支援制度を取り入れ、同校出身の歴木中学校と田隈中学校の3年生8人が採点や個人指導など、先生たちの補助として活躍しました。

●身近な先輩と楽しく学習

小学生は、身近な先輩「リトルティーチャー」に声をかけてもらおうと笑顔で質問し、楽しく取り組んでいました。中学生は「初めは緊張したけど、どこがわからないか言ってくれたので楽しくできました」「自分ではわかっていないことも、理解してもらったのは難しかった」「自分の学習の振り返りもできました」と感想を話していました。

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）

